

# がくしゅうかだい（2ねんせい）



【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

<べんきょうすること>

◆「たんぽぽのちえ」（きょうかしょ 42～47 ページ）にとりくみます。

- ① 42～47 ページを声に出して読みます。
- ② たんぽぽの花がかわっていくのには、わけがあります。そのわけを見つけて、このひょうにまとめましょう。  
（ノートやとりくみシートに、ひょうをうつしてもいいです。）

しめり気の多い 日や、雨ふりの日に は、わた毛のらっか さんがすぼむ。	たおれていた花 のじくが、またおき 上がって、のびる。	かれたあとに、白 いわた毛ができる。	たんぽぽの花の じくは、ぐったりと じめんにたおれる。	たんぽぽがして「ねい」と
			（れい） 花とじくをしずかに休ま せて、たねにえいようをお くっているのです。	わけ

※わけをあらわすとき、文のおわりに「～のです。」「～からです。」などの言葉をつかいます。その言葉に気をつけて、読んでみましょう。

◆あたらしいかん字「形(53 ページ)」～「同(56 ページ)」まで、とりくみます。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・たんぽぽがどんな知恵を働かせているのか、その理由をまとめていきます。もし、見付けられない場合は、理由を表す文末の言葉（～のです。～からです。）を教え、探してみるように声をかけてあげてください。
- ・クイズのようにお子さんに尋ねながら、学習をする方法もあります。  
例) どうして花のじくがぐったりたおれるのかな。  
→お子さんが答えられたら「それって教科書のどこに書いてあるかな。」  
※どこに書いてあるかを答えることができれば、理由に気付くことができます。